



## ■ 『第114回在宅医療懇話会』 が開催されました



2023年10月10日(火)  
に出雲医師会館において医師会の在宅療養懇話会が開催されました。今回は出雲市民病院が力を入れて行っている高齢者の方の入院受入れと在宅復帰支援の取り組みについて紹介できる機会となりました。

はじめに、高橋 賢史 副院長より「出雲市民病院における地域包括ケア病棟の展開について」というテーマで、出雲圏域での当院の役割や病棟機能、今後の展開について話が進められました。

続いて地域に先駆けて新たな試みとして開始している「リハビリ・栄養サポート入院について」リハビリテーション科部長の松原 美和 医師より報告がありました。入院患者様の中には、摂食嚥下障害が進行し、全身状態が悪化しており、リハビリ効果が得られにくいというケースもあることから、「最近ムセが多い」「やせた」などの症状を見逃さないこと、早期からリハビリ・栄養サポートを組み合わせた治療の大切さについて話がありました。参加された先生から後日、「以前なら老衰として経過をみていたが、摂食嚥下評価を行って欲しい」とご相談をいただいたり、また入院相談を頂いた先生からは「とても良い取り組みですね～！元気になるよ～」とお声をいただきました。

今回、このような機会を頂き感謝致します。病病連携はもとより在宅との連携をこれまで以上に図って行きたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。



●●● 出雲市民病院では、様々な疾患へのリハビリ実施が可能です。また治療の作り方の指導、杖や福祉用具の選定、退院後の介護サービス調整への助言などを積極的に行っています。

患者様から「物が飲みにくい」「やせた」など気になるなど相談がありましたら、当院摂食嚥下外来や、リハビリ・栄養サポート入院をご検討ください。迷った際にはお気軽に地域連携センターへご相談ください。●●●

(病棟の状況によっては、お待ちいただくことがございます。予めご了承ください)



## ■ 患者相談コーナーの取り組み

### ◆ 取り組み ◆

2022年7月より正面玄関付近にて来院者が相談できる窓口として、「患者相談コーナー」を設置し、治療や生活に関するさまざまな相談に対して、患者さんやご家族と一緒に考え、自分らしい生活を続けられるよう対応しております。

誰に相談したら良いかわからない

### ◆ こんなが相談がありました ◆

- ・ 診断書、身体障がい者手帳について
- ・ 同じ施設入所者とのトラブル。
- ・ 掃除をボランティアさんをお願いしたいと思っているがどこか良いところはないか。
- ・ 今後介護がもっと必要になった場合に、どれくらい費用がかさむのか心配。
- ・ 障害者用駐車場がすぐにうまってしまう。数を増やしてほしい。
- ・ 他院での診療に関するお悩み などなど



担当者でまず相談を聴き  
(相談内容によっては別室で対応)、その後専門となる部署へつなぎ改めて電話で返事、面談するなど対応しています。

医療費の心配に関しては、当院で実施している無料低額診療事業が利用できそうであれば、その説明も行っています。相談コーナー設置日については、玄関にポスター掲示、また機関紙「すこやか」にも記載しお知らせしています。

医療介護に関するお困りごとについて気軽にご相談ください。

地域連携センター 課長：引野



★3月の相談日★  
3/4 (月)、3/12 (火)  
3/21 (木)、3/29 (金)  
時間 9:30~11:00

出雲市民病院 地域連携センター

◆ 転院の相談 担当：大平、深井(MSW)

◆ 受診・検査の相談：栗原(看護師)

TEL : 0853-21-8106 FAX : 0853-21-8123